

せっけんを使おう!

3月15日(日) 宮川野外活動センター(鹿児島市五ヶ別府町)で30人の子どもたちとせっけん実験を交えた学習会を開催しました。

ペットボトルを2本準備してもらい、粉せっけん和市販の合成洗剤をそれぞれ水に溶かして、よく振って泡を立ててもらいました。その中へ「お酢」を入れると、どうなるでしょう?

あら不思議!せっけんの泡だけが消えました!これはアルカリ性のせっけんが、お酢で中和され、元の原料(油脂)に戻ったからです。一方、合成洗剤の泡はそのままです。合成洗剤は分解されにくく環境に影響を与える可能性があることや、環境にやさしいせっけんの上手な使い方を子どもたちに伝えました。

また、香りの強い柔軟剤による「化学物質過敏症」の話では、「誰にでもなる可能性がある」と知って怖いと思った」という感想をいただきました。せっけんが環境にやさしいことを知った子どもたち。ぜひ、おうちに帰って今日のことを話してね!



酸性の強い汚れをせっけんで洗うと「油」に戻ってしまうため、使い方のコツを知ることによって楽しく使えることを学びました。

「せっけんに切り替えてよかった」子どもの頃からアトピー性皮膚炎で、湿疹やかゆみが常にありました。このままずっとこの状態が続くのかと諦めていた時にせっけんに出会いました。まず、赤みやかゆみがなくなり、指のバクリ割れも治りました。せっけんを使っている今が一番肌がキレイです。



「せっけんでフワフワな洗い上がり」香りで気分が悪くなるようになってから、わが家の洗濯物はゴウゴウ気味に。柔軟剤を使えないから仕方ないと思っていました。せっけん洗濯は柔軟剤が不要と知り、それからは香りなしでフワフワです!



朝起きてから寝るまで、洗うことは私たちの生活そのものです。水はいのちの源です。

せっけできれいな水を守りましょう。子どもたちに残したい未来をつくるために、生活のすべての場面にせっけんを使いましょう。

GREENおすすすめ委員会

福留ハム(株)熊本工場見学! ウィンナーについて学んできました!

2月25日に委員研修として福留ハム(株)を訪問し、視察交流を行いました。製造工程を見学後、ハムやウィンナーを使って準備して頂いた昼食を囲み、交流を深めました。

特に感動したのは、52号からリニューアルした一番人気の「あらびきウィンナー」のお話。なんと、お肉と脂を10%も増量し、旨みと食感をアップさせたそうです。驚くべきは、その品質向上を「企業努力」でお値段据え置きのまま実現されたこと。

「組合員の皆さんに、もっと食べてほしいから」というメーカーさんの真っ直ぐな想いに触れ、感謝とともに「もっと広めたい!」という気持ちでいっぱいになりました。パワーアップした美味しさを、ぜひ皆さんの食卓でも味わってみてください!

GREENおすすすめ委員 有馬



お問い合わせ

本部組合員事務局: 099-218-8356
てるてるコーナー: 0120-140-586
(商品個別窓口)



ホームページ



Instagram

ありがとうございます

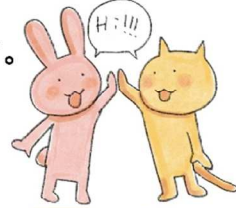


谷山店「みらい」

福祉委員会

ハートのつぶやき

子どもたちが出かける時は、玄関先でハイタッチをしてから送り出します。幼稚園生の頃から始まった習慣は、息子が高校生になった今でも続いています。忙しい朝でも、バタバタと準備をして家を出る子どもに声をかける、我が家のコミュニケーションの時間です。小さかった手も今ではすっかり大きくなりましたが、この習慣だけは変わりません。「いってらっしゃい! 気を付けて! 楽しんでおいでー!」の気持ちを込めて、明日の朝も元気にハイタッチで送り出したいと思います。(Y. N)



元気くんからのおたより

5月号

ストップ川内原発!

3. 8かごしまパレード

3月8日(日) 集会: 天文館公園
パレード: いづろ通り~高見馬場

福島を忘れない 『絶対ダメ!原発延命の乾式貯蔵』

「原発はいらない」を訴えました
開会挨拶 横山理事長



佐賀県で過ごした子どもの頃に、父に玄海原子力発電所の見学に連れて行ってもらったことがあります。原発の仕組みがかかれたパネルがあって、それを読みながらなんとなく怖くなり、父に「もし事故が起きたら私たちどうなるの?」と聞きました。父からの「事故なんて起きないから大丈夫だよ」という答えに、とても安心した記憶があります。まだ、日本全体が原発の安全神話を信じていたころだったので、父のように思っていた日本人が大半だったのではないかと思います。でも、現実には事故が起こってしまいました。人間が引き起こした災害は、戦後最大の国内避難民を生み、人々の生活に深い分断と苦悩をもたらしました。ある日突然に当たり前の日常を奪われる苦しみはいかほどかと思えます。

鹿児島には川内原発があります。1989年からグリーンコープの組合員はずっと原発から卒業すべきだと言ってきました。原発事故が起これば大惨事になることも伝えてきました。

事故で苦しむ人を更に作らないために鹿児島から原発を止めましょう。安全な原発などありません。絶対に事故が起これないという約束は誰にもできません。人が作った以上、間違いも失敗もあるのです。私たちの子どもやその子どもが少しでも安心して暮らせる鹿児島を取り戻すために、皆で『原発はいらない』という強い意思表示をしていきましょう。

ストップ川内原発! 3. 11鹿児島実行委員会
グリーンコープかごしま生協 理事長 横山 利恵



今回初めて参加しました。集会では各運動団体からの挨拶があり、3.11のことや脱原発への思いを自分に引き寄せて話されました。パレードでは、みんなでスローガンを唱えながら歩きました。初参加で少し緊張しましたが難しいことはありませんでした。ただ、一緒に連れて行った6歳の娘は「なぜ原発はだめなの?」と一緒に歩いてくれた組合員さんに質問攻め。3歳の息子は天文館公園で「まだ遊ばなかった」とへそを曲げ道路で横たわり歩くことをボイコット。歩いたと思ったら道端のゴミや石を拾って前に進めない...忘れられない初パレードとなりました。

川内原発に何かあったら「原発に反対している人」「賛成している人」「無関心の人」も関係なくみんな被曝してしまいます。原発といのちは共存できません。毎年この時期にパレードは開催されますので気軽に参加してみませんか? ^_^
かごしま北支部委員会 堤 千歳

リユースびんはきれいに洗って返却しよう!

始めよう
1人ひとりができること

グリーンコープ リユースびん商品

グリーンコープは、びん容器をできるだけリユースびんにして、自主回収、再使用しています。くり返し使うことで資源をムダにせずに、ゴミを減らすことができます。グリーンコープ商品を利用し、まずは返すことからはじめましょう!



回収できるびんには
*ラベルに「US-CO」マークがついています
*びんには「R」マークが入っています
(500mlびんには「R」マークは入っていませんが回収します)

びんの規格を可能な限り統一し、びんメーカー・洗びんメーカー・製品メーカーによる総合的なびんリユースシステムをつくることでリユースびんの使用を広げています。
※フタは回収していません
※一升瓶の回収については、所属の生協にお問い合わせください



グリーンコープのリユースびん
商品一覧表はこちら

リユースできないびん(例)
*マヨネーズ
*りんごジュース

